

1年生が園に里帰り  
「久しぶりやね」



ギターに合わせて歌ったよ



おばあちゃんすごいね



肩たたきをしたよ



元気な踊りを  
見てもういました



今月は、にじいろ園での小、中学校や地域の方との交流のようすをお伝えします。  
小学校とは、4月からの円滑な就学に向けて年長児が、葉山・精華小学校の1年生を中心に2年・3年生との交流を行っています。葉山中学校は毎年、3年生が手作りのおもちゃを持って交流に来てくれます。今年9月に4歳児組と一緒に遊んでくれました。ホールでお兄ちゃんお姉ちゃんの手を握られて絵本を読んでもらったり、手作りのギターや、お店屋さんのレジ、ボーリングなどの手作りおもちゃの数々に目を輝かせながら一緒に遊んでもらったりしました。

地域のお年寄りとの交流も行い喜んで

らっています。7月には5歳児組が、あつたかふれあいセンター「鶴松の風」を訪問し、藁を使つての縄づくりや七夕飾りを教えてもらいました。藁に触るのも初めての子もいて興味津々のようすでした。10月には、4歳児組が「ひのきの里」に、3歳児組が、あつたかふれあいセンター「せんだん」を訪問しました。運動会に踊ったダンスを見てもらったり、肩たたきや、握手などで触れ合ったりしながら、和やかな時間を過ごしました。最初は緊張していた子どもたちも、おじいちゃんおばあちゃんの「かわいいねえ」「〇〇さんくの〇〇ちゃんやねえ、だっこしちゃおう」などの優しい声かけに、すっかり打ち解けて笑顔で嬉しそ

うに、やり取りができていました。  
小中学生には、身近なモデルとしてあんな風になりたいと憧れの気持ちをもちながら、お年寄りには穏やかな優しさをもらいながら、温かい交流をこれからも続けていけたらと思います。  
また、先日地域の方が「うちの孫が、小さい時に喜んで遊んだき」と大きなクヌギやドングリを園に届けてくれました。さっそく、どろりころがしなどの遊びを楽しんでいます。ありがとうございました。地域の皆さんに見守られながら、成長していく子どもたちをこれからもよろしくお願ひします。